

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.gmb.jp (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告します。)
証 券 コ ー ド	7214

ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。

<http://www.gmb.jp>

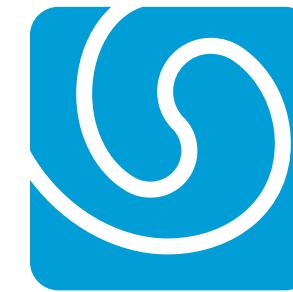
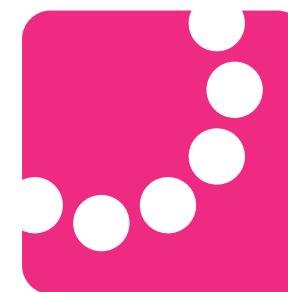


(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **GMB** 株式会社

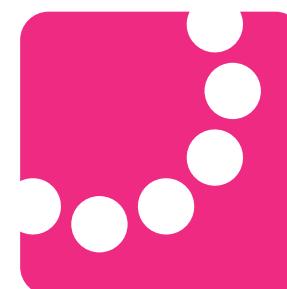
〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930
<http://www.gmb.jp>



GMB REPORT

第53期 年次報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。
また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、第53期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の
年次報告書をお届けいたします。



代表取締役会長 松岡 信夫

代表取締役社長 阪口 有一

Q.1 当期の業績について、教えてください。

韓国・中国で新車用部品の販売を伸ばすも、固定費増加と為替影響で減益に。

GMBグループは、韓国・中国における新車用部品の販売が順調に推移し、円高修正による影響もあって販売は回復基調となりました。また、新車用部品と補修用部品の両市場において取扱製品の増加や販路拡大による一層の販売拡大とコスト競争力の強化などに努めてまいりましたが、海外拠点の件数や研究開発費用の増加、日本における輸入コストの上昇の影響も受けました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が64,863百万円(前期比10.6%増)、営業利益は1,599百万円(同24.3%減)となり、経常利益は1,518百万円(同32.5%減)、当期純利益は364百万円(同58.6%減)となりました。

Q.2 現在の経営環境について、お聞かせください。

世界の景気動向と自動車需要は減速感あれども、引き続き緩やかな拡大基調。

国内景気は企業業績や個人消費の改善によって緩やかな回復が継続するものと予想されます。世界景気は、中国・米国景気の減速、欧州諸国の債務問題の再燃など不安定な要素もありますが、引き続き緩やかな拡大を続けるものと予想しております。自動車業界においても世界的な需要は減速感もありますが、緩やかながら拡大を継続しております。そのような環境のなか、自動車部品業界はグローバルな競争が一層激しさを増すことが予想されますので、今後さらに海外での生産体制を強化しつつ、競争力を維持・向上させるためのコストダウンや技術革新をこれまで以上に推進していかねばならないと考えております。

Q.3 来期の取り組みについて、お聞かせください。

新拠点のスムーズな立ち上げ、既存工場の生産体制の強化、コスト改善、新製品開発に注力。

新車用部品市場においては、引き続き、新規顧客の開拓と生産体制の強化を継続しつつ、生産拠点の効率化と中国・ロシア・ルーマニアの新たな生産拠点のスムーズな立ち上げを進めてまいります。補修用部品市場においては、生産性改善などのコスト競争力強化と協力工場を活用した取扱製品の拡大と品揃えの充実を進めることで、販売の拡大に取り組んでまいります。また、次世代に繋がる新製品や新技術導入を推し進め、新車用部品と補修用部品の両市場における事業の拡大と、事業環境の変化に柔軟に対応できる体制の強化に努めてまいります。

以上により、平成28年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高71,000百万円(前期比9.5%増)、営業利益1,850百万円(同15.7%増)、経常利益1,550百万円(同2.0%増)、当期純利益500百万円(同37.0%増)を計画しております。

Q.4 配当方針について、教えてください。

高いレベルでの設備投資資金需要のなかでも、安定配当継続。

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、今後も業績動向を勘案しつつ、この水準を安定的に継続していく方針であります。

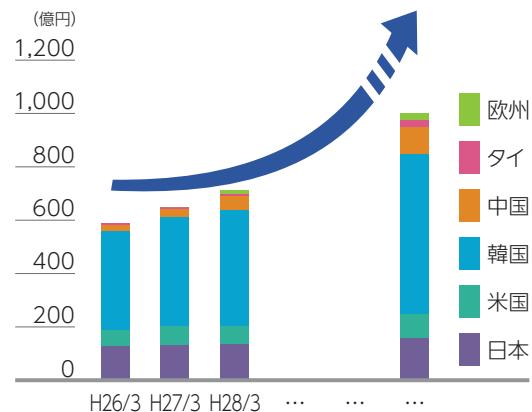
内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

新市場の開拓、高付加価値製品の投入を推進し、さらなる成長を目指します。

重点施策

- 積極的な拠点展開と設備投資でグローバル供給体制を確立
- 技術的な取り組みを強化し、新製品開発と新市場開拓を推進
- 国内工場の集約化を進めつつ、新車部品事業での再活性化を目指す

セグメント別売上高の成長イメージ



製品の拡販

ウォーターポンプ



欧州新工場から現地納入開始

バルブスプール



現代グループの規模拡大
欧米・中国メーカーへの拡販

等速ジョイント



大手部品メーカーへ拡販

新製品の投入

電動ウォーターポンプ



様々な顧客ニーズによる新製品開発

オイルポンプ



ウォーターポンプの技術を
関連部品へ活用

環境対応製品



燃費向上や電氣化に対応した、
新製品の研究開発を推進

中国の3番目の新工場が稼働開始

吉明美汽配(南通)有限公司

自動車生産が拡大する中国の江蘇省に、新車部品の新たな生産拠点を設立し、昨年末より稼働を開始しました。現在、現地の外資系自動車部品メーカーに対しベアリング製品を納入しております。今後も中国の現地供給ニーズに応える生産拠点として、拡張を計画しております。



吉明美汽配(南通)有限公司

欧州初の生産拠点をロシアとルーマニアに設立

GMB RUS TOGLIATTI LLC
GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.

近年取引が拡大している欧州向け新車部品のさらなる拡大を目的に、ロシアとルーマニアに欧州地域としては初めての生産拠点となる新会社を設立しました。ともに、現地の完成車メーカーに対して、ウォーターポンプの供給をスタートし、今後も欧州市場に対する拠点として、活用していく計画です。



GMB RUS TOGLIATTI LLC

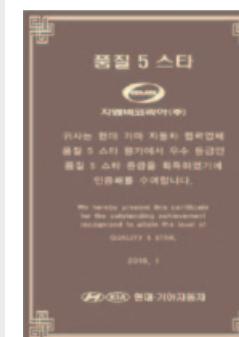


GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.

現代自動車から品質“5-STAR”の認定を受ける

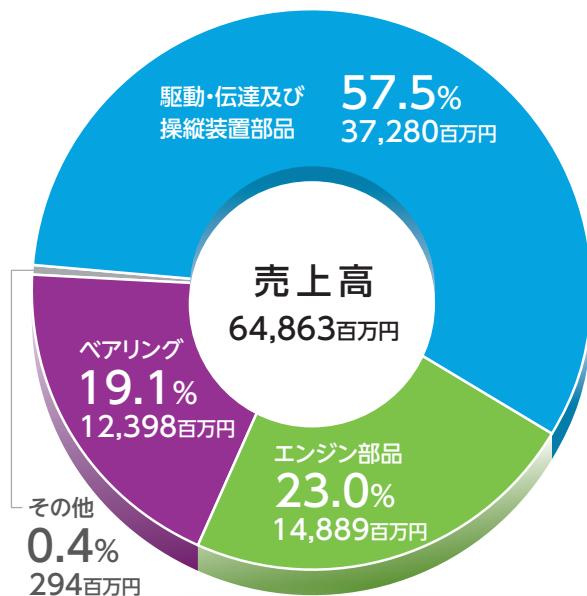
GMB KOREA CORP.

韓国のGMB KOREA CORP.は、主要顧客である現代自動車より、納入業者の品質認定制度において、上から2番目の等級である“5-STAR”に認定されました。これは、数ある納入業者のうち約30社しか、認められない等級であり、これまでの品質管理・向上に対する社内の様々な取り組みの成果であると、自負しております。今後も顧客から信頼されるものづくりに努めてまいります。



製品分類別の概況

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。



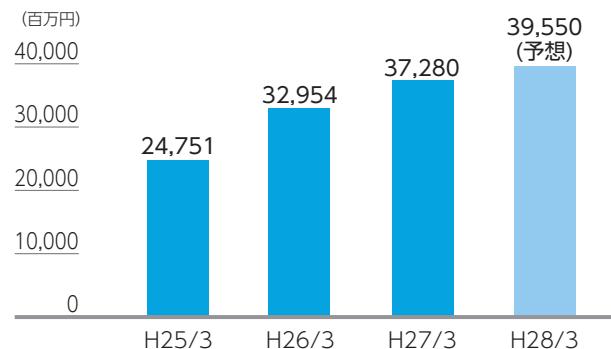
製品分類別売上高構成
(平成27年3月期)

駆動・伝達及び操縦装置部品

売上高 **37,280**百万円

前期比 **13.1%増**

連結売上高



韓国および中国の新車用部品市場におけるバルブスプールが生産能力の拡大に比例して、前期に続き売上増加を牽引しました。その他、韓国において等速ジョイントの販売が増加しました。

主な製品

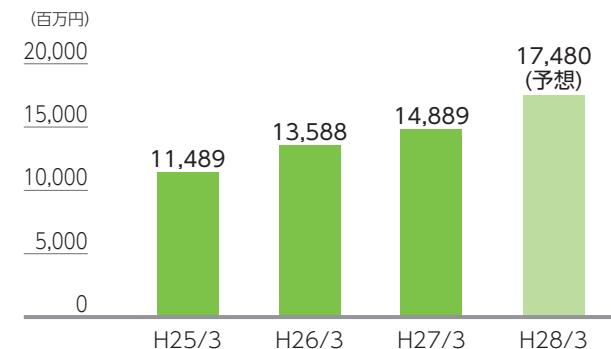


エンジン部品

売上高 **14,889**百万円

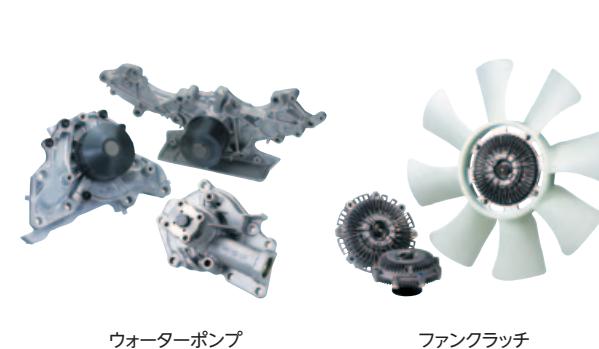
前期比 **9.6%増**

連結売上高



米国、中東、アフリカなどの海外補修用部品市場におけるウォーターポンプの販売が増加しました。また来期においては、欧州完成車向けのウォーターポンプの現地納入も本格化します。

主な製品

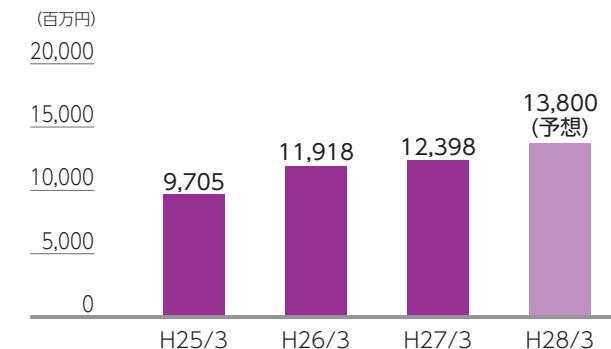


ベアリング

売上高 **12,398**百万円

前期比 **4.0%増**

連結売上高



特に韓国から海外補修用に輸出するテンショナー・アイドラー・ベアリングの販売が苦戦しましたが、補修用市場に対しては、ハブベアリングなどの取扱い製品の拡大にも注力しました。

主な製品



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在		平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	37,143	33,629	流動負債	25,454	21,542
① 固定資産	31,083	24,885	固定負債	11,637	8,688
有形固定資産	28,641	23,312	負債合計	37,091	30,230
無形固定資産	421	328	純資産の部		
投資その他の資産	2,020	1,244	株主資本	19,350	19,237
資産合計	68,226	58,514	その他の包括利益累計額	3,204	1,570
			少数株主持分	8,580	7,476
			純資産合計	31,135	28,284
			負債・純資産合計	68,226	58,514

POINT
①

66億円の設備投資を実施

当期は、韓国・中国の生産拠点の生産能力の増強に加え、中国・ロシア・ルーマニアに新拠点を設立するなど、新市場・新製品の開発や生産能力の増強を目的として総額66億円の設備投資を実施しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
② 売上高	64,863	58,663
売上原価	54,417	49,137
売上総利益	10,446	9,526
販売費及び一般管理費	8,846	7,415
② 営業利益	1,599	2,111
経常利益	1,518	2,251
特別利益	15	30
特別損失	81	20
税金等調整前当期純利益	1,452	2,262
当期純利益	364	881

POINT
②

11%の増収に対して、
営業利益は24%減益

韓国・中国における新車用品の販売が順調に推移し、海外補修用品の販売も回復基調となりました。しかしながら、設備投資拡大による減価償却費や海外拠点の人件費、研究開発費用などが増加し、円安により日本における輸入コストの上昇の影響も受けました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

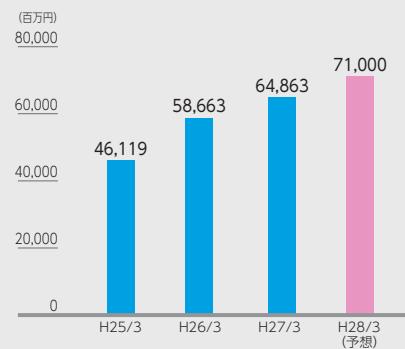
(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,024	4,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,402	△3,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,056	288
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	565
現金及び現金同等物の増減額	△80	1,681
現金及び現金同等物の期首残高	5,018	3,337
現金及び現金同等物の期末残高	4,938	5,018
フリー・キャッシュ・フロー	△3,377	827

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

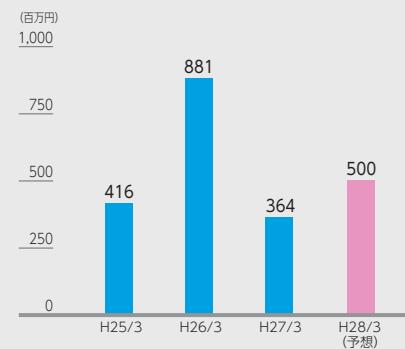
売上高



営業利益



当期純利益



総資産／純資産／自己資本比率



EPS／配当



ROA／ROE



株式の状況

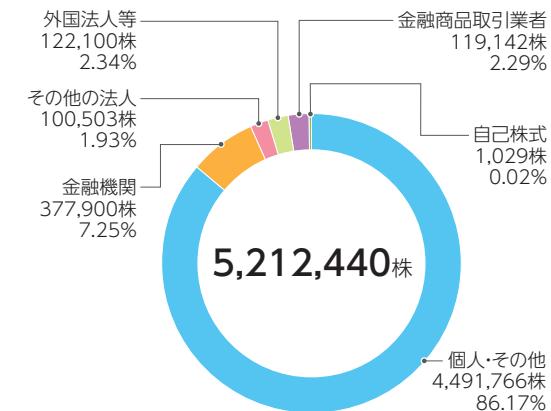
発行可能株式総数	19,000,000株
発行済株式の総数	5,212,440株
株主数	2,504名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 光子	416,375	8.0
松岡 栄子	240,350	4.6
GMB従業員持株会	202,970	3.9
松岡 百合子	164,625	3.2
松岡 弘枝	122,500	2.4
松岡 祐広	120,000	2.3
金本 順子	98,750	1.9
松岡 祐吉	96,125	1.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	81,000	1.6

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

商号	GMB株式会社
会社設立	昭和37年5月
資本金	838,598,000円
従業員数	連結 2,793名 単体 375名

役員 (平成27年6月19日現在)

代表取締役会長	松岡 信夫
代表取締役社長	阪口 有一
代表取締役副社長	小菅 清
専務取締役	金本 現一
専務取締役	桑村 周二
常務取締役	香田 剛昌
常務取締役	松岡 祐吉
取締役	鄭 世泳
取締役	梁 亨恩
常勤監査役	大西 昭
監査役	浜本 章
監査役	濱田 誠一

事業所	本社・奈良工場 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930 Web Site http://www.gmb.jp
	八尾工場 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番地3号 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481
グループ会社	GMB NORTH AMERICA INC.(アメリカ ニュージャージー州)
	GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	AG TECH CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
	青島吉明美汽車配件有限公司(中国 山東省即墨市)
	吉明美(杭州)汽配有限公司(中国 浙江省杭州市)
	吉明美汽配(南通)有限公司(中国 江蘇省南通市)
	THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.(タイ プラチンブリ県)
	THAI KYOWA GMB CO.,LTD.(タイ プラチンブリ県)
	GMB RUS TOGLIATTI LLC(ロシア サマラ州トリヤッチ市)
GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.(ルーマニア アルジェシュ県)	

GMBネットワーク

